

『7月19日(金)ワークシフトプレイス vol.7開催レポート』

【開催概要】 日時:2013年7月19日(金)19:00-21:00 場所:garden kitchen 新宿御苑

【テーマ】 「問いを解決する対話を始めよう4」

【目的】 フューチャーセンター方式・ステップ④・『プロトタイプ創り』

…前回行った『本質発見』を基に、バックキャスティングを使い「最高の働き方」のシナリオを創ります。



【当日流れ】

■アイスブレイク「自己紹介をしよう！」

まずは関係性作りのため、恒例の自己紹介からスタート！2人1組となって自己紹介をして頂きました。

お題は、『最近“モチベーションが上がった出来事”、“元気の源”や“モチベーションの源”』についてです！

*初参加メンバーの自己紹介をピックアップ！

- ・様々な、出版に関わっている職種、会社の人と仕事をすること。(佐藤さん 編集者)
- ・講師を仕事としている人の話を聞くこと。(畔柳さん 公務員)
- ・子育て(愛娘の成長)でモチベーションが上がる！(桑原さん 会社経営)
- ・「会いたい」と言ってくれる生徒がいること。(館野さん 小学校教員)
- ・期待に応えていく仕事がしたい！という思いがモチベーション。(松尾さん 会社員)
- ・全国に顧客を作って“全国制覇する”！という思い。(牧本さん 個人事業主)

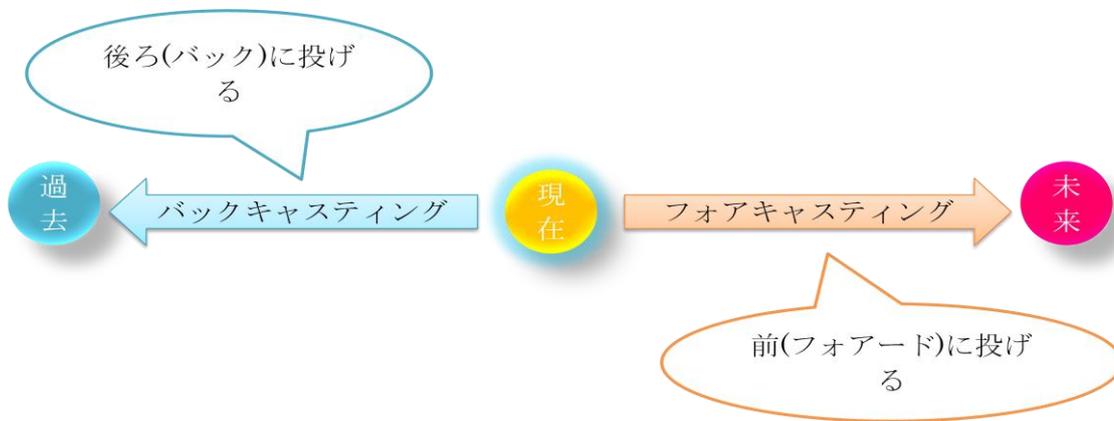
■未来志向:「バックキャスティングを使った未来志向とは？」

続いては、『バックキャスティング』『未来志向』についての説明です。今回は、メンバーの多胡さんにファシリテーターとなって頂き、分かりやすく説明して頂きました！（多胡さん、誠にありがとうございました！）

*解説

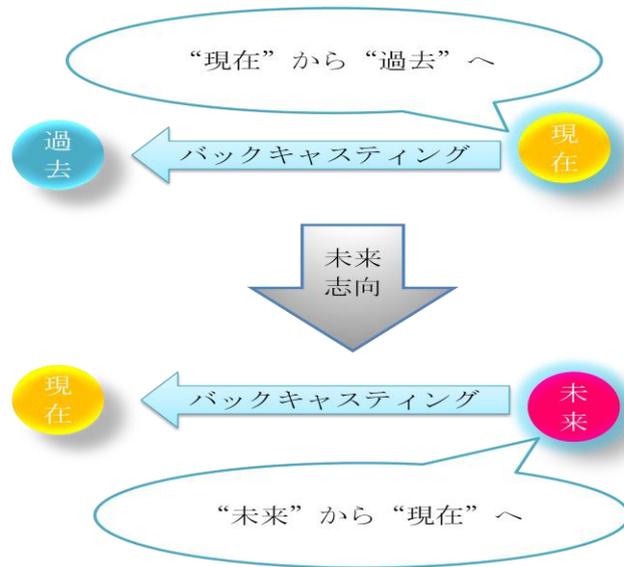
フォアキャスティング:由来は前(フォワード)に投げる。今を起点にして未来にボール(思考)を投げる。

バックキャスティング:現在を起点にし、過去(バック)にボールを投げる。



つまり、未来志向とは…

“現在”ではなく“未来”を起点にして、未来から現在を振り返る(未来から現在に投げる)、というのが未来志向で使用するバックキャストिंगという思考法です。



*ポイント

- ・今、自分が“未来にいる”と仮定すること。
 - ・未来を確信して考えるにはどうすればいいか？(自分の未来を確信するって、なかなか難しいですよ！)
- 自分ではなく、他人に置き換えて未来を想像する！自分の未来は、さまざまな弊害を想像してしまうが、他人事に置き換えて想像すると、自由な発想で幸せな未来を想像し易い。

■未来志向を活用してみよう！「2030年の最高の働き方とは？」

多胡さんによる「バックキャストिंग・未来志向のご説明」の後は、未来志向を使って、未来の働き方について考えて頂きました。お題は、「2030年の「働き方」は〇〇になっている！“最高の働き方”は〇〇だ！」に当てはまること！テーマ「いつでもどこでも働ける」に留意して考えて頂きました。

■マグネットテーブル

お題に対して、自由に出して頂いたアイデアを基に、今度は4人1組のグループを作りました。

*グループを作る時の3つのポイント

- ①自分のテーマ同じ！共通項がある！
- ②自分の物と組み合わせると、“良い効果”が生まれそう！

③テーマと違うけど相手の方が好き！いいかも！

■即興劇しよう！（準備時間20分間・上演時間4分）

今回のWSPのテーマは、「プロトタイプ創り」！新しい働き方のプロトタイプを“空想ではあるけれど、ひとまず形にしてみよう！”ということで、『2030年の最高の働き方』について、グループになった4人でシナリオを作成し、即興劇を演じて頂きました！準備時間は20分間、上演時間は4分（東さんによれば、この時間が“ベスト”だそうです！）。必ず一人一役以上演じ、アドリブOK！小道具もOK！さあ、即興劇のスタートです！

① 「2030年とあるカフェで…」 <http://youtu.be/6nR3adJvFtl>



〈演者〉 「畔柳さん、多胡さん、町田さん、桑原さん」

〈登場人物〉 「古本屋のおやじ、徘徊おじさん、アフリカ原人(遠隔・3D参加)、クリエイター」

Point

- ・トラブルに対応できる知識を、誰でも持っている(専門家でなくても対処可能)。
- ・カフェなど、仕事場は関係ない。
- ・個人の意思を尊重し、死ぬことが選択可能。
- ・世界規模(どこにいても)でメンバー募り、迅速にプロジェクトを立ち上げることができる。

② 「火星と地球で通信障害発生…!」 <http://youtu.be/z8bs73gYD0w>



〈演者〉 「館野さん、佐藤さん、清水さん、牧野さん」

〈登場人物〉 「地球に住んでいる館野さん、火星に住んでいる佐藤さん、NASAのMr.SHIMIZU、CIA ジャックバウアー」

Point

- ・ユニバーサルに何時でも情報をやりとりできる。
- ・宇宙との通信手段が既にできている。
- ・それぞれプロフェッショナルの力を最大限に利用
- ・個人と国の機関が協力し、スピーディーに対応可能、問題解決できる。

③ 「新人社会人松尾君、日々のビジネスライフ」 http://youtu.be/kn_LaAlHcbA



〈演 者〉 「松崎さん、柴田さん、植田さん、松尾さん」

〈登場人物〉 「新人社会人松尾さん、軽井沢社長、犬のシェリー、大間のマグロ漁船の親方、クロマグロ、社長(寿司店経営)」

Point

- ・時間と場所、行きたいところに行け、やりたい仕事ができる。
- ・インターネットが異常に発達社会
- ・世の中の仕事を全て網羅したクラウドソーシング。

■クロージング『WISH』

試作として、フィクションではあるけれど、「最高の働き方」を創って頂いた後は、「自分の持ち場でやってみようかな?」「やれそうだな?」と思ったアイデアを参加者全員でシェアしました!

～WISH～

- ・日々 心を声にするわん! (FINO 植田)
- ・場所の開拓→Work できる場所として (松崎さん)
- ・場所と時間を選ばない (畔柳さん)
- ・我が子の未来を楽観で想像 (桑原さん)
- ・プロフェッショナル(マニアック)な人を常にさがす、どんどん声をかける (佐藤さん)
- ・Linked In に登録する (柴田さん)
- ・元気な笑顔であいさつし、人脈を拓けていきます。(清水さん)
- ・アイデアを実践する宣言をする (FINO 鈴木)
- ・専門外に口出しする。(多胡さん)
- ・プロフェッショナルとのつながりを増やして、どんどん繋げる。子供にも友達にも (館野さん)
- ・英語の勉強、スカイプで会話! (牧本さん)
- ・回遊! 色んな所で色んな仕事を。(松尾さん)
- ・世界の一般の人を直接のお客さんにする (町田さん)

最後までお読みくださり、ありがとうございました。次回レポートもお楽しみに! 事務局 高田